

授業科目	アジアの歴史と文化				単位	2				
履 修	選択	関連資格				ナンバリング	TO10108J			
開講年次	3・4年	開講時期	後期	該当DP	DP1-1 DP1-2 DP1-3 DP3-1					
担当教員	篠原 征子									
授業概要	<p>文化は人間が自然に手を加えて形成してきた物心両面の成果である。その成果を受け継ぎ、発展させ、今の生活をより良くすることが人類の永遠の課題である。しかし、すべての文化を受け継ぐことはできない、何を受け継ぎ、どう発展させるべきなのか、そのヒントは歴史にある。</p> <p>本講義ではアジアという地に育まれた、長い歴史を持ち、今なお多くのアジア人を物心両面から支え、世界に大きな影響を与えている七つの優れた文化について考察する。</p>									
学生が達成すべき行動目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会生活に生きる七つの文化への認識を高めることができる。 2. 七つの文化の発生、発展の歴史およびその主な内容について説明することができる。 3. 七つの文化の政治、倫理、経済、芸術などに与えた影響への認識を高めることができる。 4. 歴史から七つの文化を継承、発展させる意義及び方法を考えることができる。 									
達成度評価										
評価と評価割合／ 評価方法	試験	小テスト	レポート	発表(口頭、プレゼンテーション)	レポート外の提出物	その他	合計	備考		
総合評価割合	50	0	40	0	0	10	100			
知識・理解 (DP1-1)	50						50			
知識・理解 (DP1-2)										
知識・理解 (DP1-3)										
知識・理解 (DP1-4)										
思考・判断 (DP2-1)										
思考・判断 (DP2-2)										
関心・意欲 (DP3-1)			40				40			
関心・意欲 (DP3-2)										
態度 (DP4-1)										
態度 (DP4-2)						10	10			
態度 (DP4-3)										
技能・表現 (DP5-1)										
技能・表現 (DP5-2)										
技能・表現 (DP5-3)										
具体的な達成の目安										
理想的レベル					標準的なレベル					
標準的なレベル1～4のすべてを達成したうえで、修得した知識を活かして研究や国際交流に取り組むことができる。					<ol style="list-style-type: none"> 1. 社会生活に生きる七つの文化への認識を高めることができる。 2. 七つの文化の発生、発展の歴史およびその主な内容について説明することができる。 3. 七つの文化の政治、倫理、経済、芸術などに与えた影響への認識を高めることができる。 4. 歴史から七つの文化を継承、発展させる意義及び方法を考えることができる。 					
授業計画										

進行	テーマ・講義内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	予習・復習時間(分)
1	テーマ1:オリエンテーション 授業の概要について説明し、その履修方法や授業の目的、達成の目安、評価の内容と方法を理解する。 テーマ2:酒文化の発生 酒はどこから来たのか、4つの酒作り説について解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と酒文化」について考える	30
2	テーマ:酒文化の発展 酒の祭祀、儀礼、政治、娯楽、医療、食生活などへの影響について解説する。	講義	該当部分の復習	30
3	テーマ:占ト文化の発生 『易』の意味及び「太極陰陽八卦図」について解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と占ト文化」について考える	30
4	テーマ:占ト文化の発展 『易』から『易経』への発展、及び『易経』の宇宙・人生への意義について解説する。	講義	該当部分の復習	30
5	テーマ:農耕文化の発生 穀物の発見と植物の栽培が人類にもたらしたものについて解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と農耕文化」について考える	30
6	テーマ:農耕文化の発展 農耕文化の社会生活及び政治、経済への影響について解説する。	講義	該当部分の復習	30
7	テーマ:道教文化の発生 道教文化とはどのような文化領域なのか、および道教文化の思想内容について解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と道教文化」について考える	30
8	テーマ:道教文化の発展 道教文化の産物について解説する。	講義	該当部分の復習	30
9	テーマ:儒教文化の発生 孔子と儒教思想について解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と儒教文化」について考える	30
10	テーマ:儒教文化の発展 儒教文化と社会秩序の関係について解説する。	講義	該当部分の復習	30
11	テーマ:仏教文化の発生 仏教誕生のきっかけ及びその核心思想を解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と仏教文化」について考える	30
12	テーマ:仏教文化の発展 仏教文化の政治・生活・芸術への影響について解説する。	講義	該当部分の復習	30
13	テーマ:茶文化の発生 茶の発見、栽培、加工及びその特徴について解説する。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	「私と茶文化」について考える	30
14	テーマ:茶文化の発展 茶による国際交流、及びその精神世界について解説する。	講義	該当部分の復習	30
15	テーマ:歴史から七つの文化を継承、発展させる意義及び方法を考える。	講義 グループで話し合い、発表を行う。	予習:これまでの授業内容をプリントやノートにより振り返っておく。	60

16				
17				
18				
19				
20				
21				
22				
23				
24				
25				
26				
27				
28				
29				
30				
理解に必要な予備知識や技能	社会生活に目を向け、七の文化を見つけることが必要。			
テキスト	プリント配布予定			
参考図書・教材／データベース・雑誌等の紹介	『酒の話』小泉武夫著 『茶の文化史』村井康彦著 『易経』高田真治・後藤基己翻訳 『漢字の起源』藤堂明保著 『栽培植物と農耕の起源』中尾佐助著 「暮らしを彩る年中行事」 ji-nekko.jp 『世界の宗教』村上重良著 『日本と道教文化』坂出祥伸著 『仏教語おもしろ雑学事典』大法輪閣編集部〔編〕 『中国古代の文化』白川静著			
授業以外の学習方法・受講生へのメッセージ	私たちの生活や精神は文化によって支えられている。色々な生活用具や考え方の背後にどんな文化が潜んでいるのかについて考察し、探求してみよう。さらに、授業で考察する7つの文化を自分の将来の仕事や生活にどのように役立てるかについて考えてみよう。			

達成度評価に関するコメント	その他は授業貢献度で評価する。
---------------	-----------------